

山行報告 槍ヶ岳登頂ならず

井上志津子

山行日： 8月12～14日 夜行バスにて前夜発

メンバー： 井上志津子、土手一真（小6一孫）

目的地：北アルプス南部、槍ヶ岳

コースタイム：上高地6：45—横尾—15：45 ババ平テント2泊

報告： 昨年北岳テント山行がうまくいったので今年は山中2泊して槍ヶ岳を目指そうと相談がまとまった。

往復バスの予約もうまくいき、孫のカップとズボンを新調して準備をした。

ちば山の過去の報告文を参考にさせていただき、ババ平2泊なら天候さえよければうまくいくと思った。

上高地で明日は雨、の情報を聞いたものの大事にはならないだろうと出発した。徳澤園までは順調であったが、それ以降孫のKは失速し、槍沢ロッジに着いたのは15時であった。2人で2泊分@700円×4=2800円を払い、テン場のババ平はさらに40分先であった。それでもすぐにテントを張れてほっとした。ババ平キャンプ場は水も豊かでトイレもまあまあ、現在改装中で出来上がれば店やトイレなどぐっと良くなると思われる。

さて、今夜はペルセウス流星群のショーが見られるはずと楽しみに夜を待った。早めに寝て、起きだして外をみても星空がない、ぜんぜんない、曇りだ。やがて、雨が降り出した。朝になったらやむことを祈りつつ夢の中へ……。

4時頃雨の中隣の若者3人が槍ヶ岳に向けてテントを出ていった。5時過ぎに起きてまずは朝食をとる。中々雨はやまない。1. 7時までにやめば槍ヶ岳を目指して予定通り出かける。2. 8時までにやめば登頂は無理でも肩の小屋まで行ってみよう。3. 10時までにやめば天狗原まで行ってランチして帰ってこよう。4. 昼にやんだら、1時間でも上に上がって違う景色をみてこよう。5. それより降り続くようならこのままおとなしく停滞だよ。と相談してはテントの中をかたずけた。このあと、雨はまさかの30時間降り続くことになり5番の選択をするしかなかった。昼になり隣のテントの若者3人が登頂して帰ってきた。

「何も見えないからこわくなかった」と言っていた。こちらは、小降りになるとトイレに行き、水場でタオルをすすいでは床上浸水に備える。食べ物はあるし寒くもないので、困ったことはないのだが、つまらないことこの上ない。雨音を聞きながら食べては寝ていた。やがて次の夜が来ても夜空のショーは期待できず、何することもなく眠りについた。3日目の朝になりまだ雨は降っている。もう下山するしかないのだから朝食をとり、片付けの段取りを始める。雨の中ザックに詰め

るのは嫌だな、と思いながら外に出るとなんとやっとなんて雨が止んでくれた。濡れて砂にまみれたテントをたたみながら、2人を守ってくれたと感謝した。

槍沢ロッジへ快調に着き、用意したものの使わなかったヘルメットをかぶって写真を撮った。徳沢園でソフトクリームを食べてゆっくりした。時間があれば明神池に寄りたかったが、その余裕もなくなったので来た道を上高地へ戻った。

入浴の時間も足りず、インフォメーションセンターの有料シャワー(@100円/3分)と更衣室(100円)でさっぱり着替えができ、15時のバスに間に合った。



上高地にて一夢と希望のツーショット



ここまではよかったーババ平テン場



用意のヘルメットも出番はなかった